



2009年10月21日

各 位

会 社 名 大日本住友製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 多田 正世
(コード：4506、東証・大証第1部)
問合せ先 広報部長 樋口 敦子
(TEL. 06-6203-1407)

当社による Sepracor Inc. の買収完了に関するお知らせ

大日本住友製薬株式会社(本社：大阪市、社長：多田正世、以下「当社」)は、当社の全額出資の持株会社 Dainippon Sumitomo Pharma America Holdings, Inc. (本社：米国ニュージャージー州、以下「米国持株会社」)の完全子会社である Aptiom, Inc. (本社：米国デラウェア州、以下「アプティオム社」)による Sepracor Inc. (本社：米国マサチューセッツ州マールボロ、President and CEO：Adrian Adams、以下「セプラコール社」)の発行済全株式を対象とする一株あたり23米ドルでの現金による公開買付け(以下「本公開買付け」)について、本公開買付けに応募していないセプラコール社の株主に向けて設定した本公開買付け後の subsequent offering period が終了しましたので、お知らせいたします。

その結果、2009年10月19日17時(ニューヨーク市時間)の subsequent offering period の終了時点で、当初買付け期間(ニューヨーク市時間2009年9月15日から2009年10月13日まで)の応募分も合わせ、セプラコール社の全発行株式総数の約86.9%に相当する96,590,423株の応募がありました。

アプティオム社は、本公開買付け及びセプラコール社から追加株式を買い付けるオプションを行使することにより、セプラコール社の発行済株式総数の90%超を取得しました。当社は、2009年10月20日(ニューヨーク市時間)、デラウェア州法に従い、セプラコール社とアプティオム社との簡易合併(short form merger、株主総会を開催しない合併手続き)を行い、約26億米ドルの現金によるセプラコール社の買収を同日中に完了しました。これにより、セプラコール社は米国持株会社の完全子会社となりました。同日をもって、本公開買付けに応募されなかったセプラコール社の株式は、本公開買付けにおける買取り価格と同額の一株あたり23米ドルの現金を受け取る権利に転換されました(但し、デラウェア州法に則った買取請求権が行使される場合を除く)。なお、支払にあたっては利息を適用せず、源泉徴収税の対象となります。

なお、本合併の結果、セプラコール社株式のNASDAQグローバル・セレクト市場での取引は停止され、また米国1934年証券取引所法に基づく報告義務も停止されることとなります。

以上

<将来予想に関する記述>

本プレスリリースには、重大なリスク及び不確実性を伴う将来の予測に関する記述が含まれています。過去の事実と該当しない記述は全て将来の予測に関する記述としてみなされる可能性があり、これらの記述には、期待や予想に関する記述及び上記の前提となる仮定事項に関する記述が含まれます。投資家及び株主は、これらの将来の予測に関する記述に過度に依拠することのないようご注意ください。現在予測されている事項は、多くの場合当社のコントロールが及ばない事由によって変化する様々なリスク及び不確実性により、実際の結果と大きく異なる可能性があります。